

ネキリムシ類（カブラヤガ）の多発生に注意！

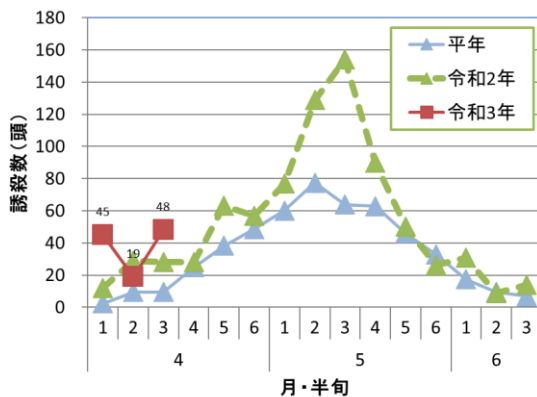
ネキリムシ類（カブラヤガ）は野菜等の苗の茎や、発芽した新芽を食害する害虫です。

農業試験場のフェロモントラップでカブラヤガの誘殺数が4月1半旬から増加しており、第一世代の幼虫の多発生が予想されます。野菜等の播種・定植を予定している場合は、幼虫による被害が多くなる恐れがありますので、防除を徹底して下さい。

1. 最近の発生状況

本年4月1半旬以降のカブラヤガのフェロモントラップ誘殺数は平年の5倍以上と非常に多くなっています。また誘殺時期は例年より早くなっています。

4月～5月にかけて第一世代の幼虫が多発生し、播種・定植直後の作物に対して被害が多くなると考えられます。



2. 主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
キャベツ	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3kg/10a	は種時又は定植時	1回
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和 6kg/10a	は種時又は植付時	
	ダイアジノン粒剤3	土壌混和 6～9kg/10a	収穫 30 日前まで	2回以内
	デナポン5%ベイト	株元散布 3～6kg/10a	収穫 14 日前まで	3回以内
ブロッコリー	ダイアジノン粒剤3	土壌混和 6～9kg/10a	収穫 30 日前まで	2回以内
ダイズ	クルーザーMAXX	塗抹処理 8ml/乾燥種子 1kg	は種前	1回
	クルーザーFS30	塗抹処理 6ml/乾燥種子 1kg		
ネギ	ネキリエースK	土壌表面株元処理 3kg/10a	収穫 30 日前まで	2回以内
	カルホス粉剤	土壌表面散布土壌混和 6kg/10a	は種時又は植付時	
	フォース粒剤	作条土壌混和 4～9kg/10a	定植時	1回
	ガードベイトA	株元散布 3kg/10a	生育初期	3回以内
	ネキリベイト	株元散布 3g/m ²		
とうもろこし	ガードベイトA	株元散布 3kg/10a	生育初期	4回以内
	ネキリベイト	株元散布 3g/m ²		

- 休耕地または雑草を耕起して植付ける場合や毎年被害を受けるほ場では発生が多くなるので、播種・定植(植付)時に土壌に殺虫剤を処理してください。
- 農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守してください。

☆ 最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)